

愛知県特別支援教育推進計画の骨子（案）

計画の趣旨

《平成25年度策定》

本県の特別支援教育を推進するにあたり、特別支援学校の過大化や長時間通学の問題、児童生徒の障害の重度化・多様化への対応、また、小中学校等に在籍する発達障害等のある幼児児童生徒への適切な支援など様々な課題への対応が求められている。  
こうした様々な課題を総合的にとらえ、中・長期的な視点に立った本県における特別支援教育の推進方策を検討し、今後の指針となる「愛知県特別支援教育推進計画」を策定する。

すべての子どもへの適切な指導・支援の充実をめざして

＜愛知県特別支援教育推進計画策定の三つの柱＞

- 1 幼稚園・小中学校・高等学校等における特別支援教育の推進
- 2 特別支援学校の教育内容の充実及び整備の方向性
- 3 関係機関と連携した就労支援

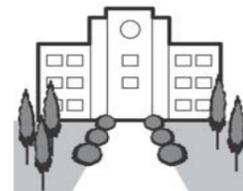
計画の進行管理

《平成30年度》

10年程度先を見据えながら、今後重点的に取り組む期間を5年とするが、5年後の進行状況を調査・分析し、その時点における様々な要因による変化や国の動向等を踏まえ、計画の見直しを行う。

1-1 幼稚園・小中学校における特別支援教育の推進

- ・ 校内支援体制の機能の充実  
個別の指導計画等の作成率向上、校内委員会の活性化など
- ・ 研修・研究の充実による専門性の向上  
研修内容の充実や機会の拡大など
- ・ インクルーシブ教育システム構築を踏まえた特別支援教育の在り方  
就学指導の在り方の検討など



1-2 高等学校等における特別支援教育の推進

- ・ 個別の指導計画や個別の教育支援計画の活用促進  
高等学校用の様式の工夫など
- ・ 研修、研究の充実による支援、指導力の向上  
ユニバーサルデザインの授業への授業改善など
- ・ 特別支援学校との連携・交流の拡大  
高等学校施設の有効活用による特別支援学校分教室の設置など

2 特別支援学校の教育内容の充実及び整備の方向性

- 《教育内容の充実》
- ・ 障害の特性に配慮した教育内容の充実  
教育課程に係わるコースの設定など
  - ・ 教員資質向上のための研修の充実  
免許状保有率の向上、校内研修の活性化など
- 《整備の方向性》
- ・ 学校規模の過大化（教室不足）の解消  
県立特別支援学校の設置、市町村との連携など
  - ・ 長時間通学の解消  
スクールバスの増車、市町村立特別支援学校設置など
  - ・ 特別支援教育のさらなる推進体制づくり  
複数障害種への対応など
  - ・ 特別支援学校の教育諸条件の整備  
看護師の拡充、スクールカウンセラーの配置など

3 関係機関と連携した就労支援

- ・ 一般就労に向けた企業等との連携  
職業技能検定の開発、企業向けセミナーの実施など
- ・ 福祉就労に向けた障害者支援施設等との連携  
連携に係る協議会の立ち上げなど
- ・ 就労先の開拓（職域の拡大）  
新たなシステムの構築など